



平成22年12月期 第2四半期決算短信

平成22年6月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミルボン
 コード番号 4919 URL <http://www.milbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月28日

(氏名) 佐藤 龍二
 (氏名) 村井 正浩
 配当支払開始予定日

TEL 06-6928-2331
 平成22年8月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成21年12月21日～平成22年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	9,430	0.4	1,725	2.0	1,619	△0.5	938	2.8
21年12月期第2四半期	9,389	—	1,692	—	1,627	—	912	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	74.85	—
21年12月期第2四半期	72.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	21,637	17,255	79.7	1,376.80
21年12月期	20,353	16,653	81.8	1,328.80

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 17,255百万円 21年12月期 16,653百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	27.00	—	28.00	55.00
22年12月期	—	27.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	28.00	55.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成21年12月21日～平成22年12月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,860	3.5	3,620	10.4	3,370	8.6	1,910	7.0	152.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.「その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期第2四半期 12,544,408株 21年12月期 12,544,408株

② 期末自己株式数 22年12月期第2四半期 11,529株 21年12月期 11,617株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年12月期第2四半期 12,532,828株 21年12月期第2四半期 12,532,951株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、内外での景気対策や新興国における需要回復等を背景に緩やかな回復の動きを示していますが、雇用や設備投資の改善の遅れから、個人消費の動向は、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当上半期における美容業界は、来店サイクルの伸びによる客数の減少、客単価の低下に加え、少子高齢化、人口動態の変化の影響等により、依然として厳しい環境であったと推測しております。

そのような状況のもと、当社グループといたしましては、「なりたい女性像」をかなえるヘアデザイン創りのために、「複合提案力のある売れるプロのデザイナー育成」を支援することを基本方針とした政策推進活動に引き続き取り組んでまいりました。また、美容業界に大きな影響を及ぼす団塊ジュニアを中心とする大人の女性に向けた、加齢に伴う髪の悩みを解消することを目的とした新製品の市場投入が順調に推移したこと、グループ全体としては前年同期売上高を上回る結果となりました。

100%子会社であるMILBON USA, INC. は、売上の中核をなしていた主力のストレートパーマ剤「リシオ」に関連製品であるメンテナンス用ヘアケア製品が、米国ストレートパーマ市場の競争激化に伴い売上の減少が続いています。サロントリートメント「インフェノム」、 「ニゼルHY」の窓口拡大およびスタイリング剤「プレジューム」の販売が予定通りに推移しているものの、ストレートパーマ関連の売上の減少を補うことができず、前年同期売上高を下回る結果となりました。

平成21年2月より、営業を開始しました100%子会社であるMilbon Trading (Shanghai) Co., Ltd. は、上海市と3つの省（広東、江蘇、浙江）に、新たに福建省を追加し、展開エリアを拡大いたしました。また、パーマネントウェーブ用剤部門で、初めての製品となるストレートパーマ剤「リシオノチュール」の販売により、これまでヘアケア製品とヘアカラー剤だけで取り組んできた市場活動に提案の幅が広がることで、売上は順調に推移いたしました。

平成21年12月より、営業を開始しました100%子会社であるMilbon Korea Co., Ltd. は、これまで現地の美容メーカーが取り組んでこなかったヘアデザイナーへの教育活動に着目し、美容室個店や自社の教育スタジオを積極的に活用したヘアカラーの教育活動に注力いたしました。結果、ヘアカラー剤の導入店が大幅に増加するとともに、サロントリートメント「ニゼルHY」の導入が促進されたことで、売上は順調に推移いたしました。

厳しい環境ではありましたが、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、94億30百万円（前年同期比0.4%増）で、41百万円の増収となりました。

営業利益は17億25百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益は16億19百万円（前年同期比0.5%減）、四半期純利益は9億38百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

部門別売上高は次の通りです。

【連結部門別売上高】

部門	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
パーマネントウェーブ用剤	1,017	10.8	1,005	10.7	△ 12
ヘアケア用剤	4,736	50.5	4,826	51.2	89
染毛剤	3,501	37.3	3,465	36.7	△ 35
その他	133	1.4	133	1.4	△ 0
合計	9,389	100.0	9,430	100.0	41

(パーマネントウェーブ用剤部門)

下げ止まりの傾向が見られたパーマネントウェーブ用剤部門ですが、景気低迷の影響からくるパーマメニュー頻度の低下により、業界全体としては減少していると推測しております。

そのような状況のもと、当社グループといたしましては、4月に発売しました、髪質に応じて丸みを感じる柔らかいシルエットを表現するストレートパーマ剤「リシオグランフェ」により、ストレートパーマの魅力伝える提案活動に努めてまいりましたが、パーマネントウェーブ用剤部門全体としては前年同期売上高を下回る結果となりました。

(ヘアケア用剤部門)

一般市場のヘアケア製品と、美容室専売品のプロユース市場との競合が一段と厳しい状況となっている中、毛髪の傷みを修復するトリートメントを中心としたヘアケアへの取り組みにより、業界全体としては微増であったと推測しております。

そのような状況のもと、当社グループといたしましては、3月に発売しました、加齢に伴う髪のパサつきと、髪の弾力の低下で悩む大人の女性に向けた、洗い流さないトリートメント「ディーセスアプラウ」の販売が順調に推移したことにより、ヘアケア用剤部門全体としては前年同期売上高を上回る結果となりました。

(染毛剤部門)

消費者の生活防衛意識と節約志向からくる来店サイクルの延びによる客数の減少と、家庭で手軽に施術できる泡カラー等の一般市場製品との競争激化により、業界全体としては減少傾向にあると推測しております。

そのような状況のもと、当社グループといたしましては、白髪染め市場の拡大に向けて、ヘアデザイナーのヘアカラー技術と提案力の向上を目的としたセミナーを全国で展開いたしました結果、白髪染め用カラー剤は前年同期売上高を上回りましたが、ファッションカラー剤の落ち込みを補うことができず、染毛剤部門全体としては前年同期売上高を下回る結果となりました。

(その他)

特筆すべき事項はありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して12億83百万円増加の216億37百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して16億9百万円増加の85億97百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が15億80百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して3億25百万円減少の130億40百万円となりました。主な変動要因は、減価償却費の計上等に伴い有形固定資産が2億54百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して6億81百万円増加の39億28百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が5億44百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して、大きな変動はありませんでした。

純資産は前連結会計年度末と比較して6億1百万円増加の172億55百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が5億86百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の81.8%から79.7%となりました。期末発行済株式総数に基づく1株当たり純資産は、前連結会計年度末の1,328円80銭から1,376円80銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は営業活動で獲得した資金を、法人税等の支払及び配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて15億79百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は32億45百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は20億45百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益16億9百万円の計上、仕入債務の増加額5億25百万円と法人税等の支払額5億44百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億28百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億45百万円、無形固定資産の取得による支出1億5百万円と保険積立金の解約による収入1億16百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億50百万円となりました。これは主に株主さまへの配当金支払額3億50百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回予想（平成22年1月20日発表）からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,246,979	1,666,170
受取手形及び売掛金	2,741,906	2,804,683
商品及び製品	1,700,315	1,646,427
仕掛品	17,197	17,417
原材料及び貯蔵品	554,578	499,852
その他	344,962	362,286
貸倒引当金	△8,751	△9,017
流動資産合計	8,597,188	6,987,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,490,439	3,627,958
機械装置及び運搬具(純額)	1,135,161	1,306,380
土地	4,763,766	4,763,766
建設仮勘定	726,801	709,139
その他(純額)	269,313	233,024
有形固定資産合計	10,385,483	10,640,269
無形固定資産	357,324	318,593
投資その他の資産		
投資有価証券	1,282,527	1,307,670
その他	1,052,778	1,164,694
貸倒引当金	△38,037	△65,160
投資その他の資産合計	2,297,268	2,407,204
固定資産合計	13,040,076	13,366,068
資産合計	21,637,264	20,353,890
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,497,653	953,356
未払金	1,441,079	1,370,388
未払法人税等	650,667	571,930
返品調整引当金	15,184	31,720
賞与引当金	62,182	62,685
その他	261,513	256,617
流動負債合計	3,928,279	3,246,698
固定負債		
債務保証損失引当金	39,000	39,000
その他	414,686	414,633
固定負債合計	453,686	453,633
負債合計	4,381,966	3,700,331

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	199,120	199,120
利益剰余金	15,224,904	14,637,996
自己株式	△38,192	△38,572
株主資本合計	17,385,832	16,798,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△85,977	△71,571
為替換算調整勘定	△44,555	△73,412
評価・換算差額等合計	△130,533	△144,984
純資産合計	17,255,298	16,653,559
負債純資産合計	21,637,264	20,353,890

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月21日 至平成21年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月21日 至平成22年6月20日)
売上高	9,389,374	9,430,892
売上原価	3,319,174	3,189,703
売上総利益	6,070,200	6,241,189
販売費及び一般管理費	4,377,704	4,515,305
営業利益	1,692,496	1,725,883
営業外収益		
受取利息	1,729	672
受取配当金	1,868	4,979
投資有価証券売却益	—	1,287
社宅負担金	16,211	20,149
企業立地奨励金	27,520	—
保険解約差益	24,810	26,579
その他	17,027	14,194
営業外収益合計	89,168	67,862
営業外費用		
支払利息	384	—
売上割引	153,916	160,488
その他	7	13,267
営業外費用合計	154,308	173,756
経常利益	1,627,356	1,619,990
特別利益		
固定資産売却益	887	87
貸倒引当金戻入額	15,000	3,409
特別利益合計	15,887	3,497
特別損失		
固定資産売却損	606	79
固定資産除却損	44,269	13,489
特別損失合計	44,876	13,568
税金等調整前四半期純利益	1,598,367	1,609,918
法人税、住民税及び事業税	715,729	631,348
法人税等調整額	△30,104	40,549
法人税等合計	685,625	671,898
四半期純利益	912,741	938,019

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)
売上高	5,132,079	5,071,055
売上原価	1,876,219	1,739,362
売上総利益	3,255,860	3,331,692
販売費及び一般管理費	2,235,374	2,316,266
営業利益	1,020,485	1,015,425
営業外収益		
受取利息	1,040	313
受取配当金	1,676	4,787
投資有価証券売却益	—	1,287
社宅負担金	8,492	10,638
企業立地奨励金	27,520	—
保険解約差益	—	26,579
その他	6,239	9,440
営業外収益合計	44,969	53,047
営業外費用		
支払利息	22	—
売上割引	78,922	83,955
その他	3	13,266
営業外費用合計	78,947	97,222
経常利益	986,507	971,251
特別利益		
固定資産売却益	887	87
貸倒引当金戻入額	—	△614
特別利益合計	887	△526
特別損失		
固定資産売却損	606	—
固定資産除却損	43,522	13,309
特別損失合計	44,129	13,309
税金等調整前四半期純利益	943,265	957,414
法人税、住民税及び事業税	377,117	371,259
法人税等調整額	19,949	△1,689
法人税等合計	397,067	369,570
四半期純利益	546,198	587,844

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月21日 至平成21年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月21日 至平成22年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,598,367	1,609,918
減価償却費	525,172	457,712
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,000	△28,238
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,882	△542
返品調整引当金の増減額(△は減少)	5,368	△16,536
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	614
前払年金費用の増減額(△は増加)	28,655	22,322
受取利息及び受取配当金	△3,598	△5,651
支払利息	384	—
為替差損益(△は益)	5,619	1,572
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,287
固定資産売却損益(△は益)	△280	△7
固定資産除却損	44,269	13,489
売上債権の増減額(△は増加)	△38,446	63,373
たな卸資産の増減額(△は増加)	△173,483	△102,049
仕入債務の増減額(△は減少)	401,608	525,856
その他	235,589	238,372
小計	2,612,344	2,778,918
利息及び配当金の受取額	3,588	5,828
利息の支払額	△384	—
役員退職慰労金の支払額	—	△194,441
法人税等の支払額	△690,471	△544,511
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,925,077	2,045,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△499,966	—
投資有価証券の売却による収入	400,000	2,400
有形固定資産の取得による支出	△831,918	△145,843
有形固定資産の売却による収入	2,050	3,811
無形固定資産の取得による支出	△79,255	△105,575
貸付けによる支出	△14,300	△1,990
貸付金の回収による収入	38,611	10,037
定期預金の預入による支出	—	△1,074
定期預金解約による収入	28,933	—
差入保証金の差入による支出	△35,169	△24,639
差入保証金の回収による収入	1,482	23,272
保険積立金の積立による支出	△5,693	△3,278
保険積立金の解約による収入	62,861	116,422
その他	△972	△1,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△933,336	△128,288

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年12月21日 至平成21年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月21日 至平成22年6月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△18,196	—
自己株式の純増減額(△は増加)	△87	186
配当金の支払額	△362,463	△350,509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380,747	△350,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,257	12,477
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	591,734	1,579,659
現金及び現金同等物の期首残高	1,010,784	1,666,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,602,518	3,245,830

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。